

ヤマト◆運賃上げ&総量規制

ヤマト運輸(長尾裕社長、東京都中央区)が現場の労働環境悪化を受け宅急便の「運賃引き上げ」や「総量規制」に踏み切るという一連の報道について、物流業界からは「物流の社会的役割を再認識させる良い機会」「運賃上げは今こそやるべき」「物流業界の転換点になる可能性がある」と前向きに捉える声が大半を占めている。■関連記事3面(那須野み、黒田秀男、今松大、佐々木健、高橋朋安、河野元、渡辺耕太郎、蓮尾輝、土田慎二)

正しい方向へかじ切り

「ヤマト運輸が検討しても問題になっており、増える。指定された時間に着く。手立ては運賃上げ以外に無い。荷主も含め、今回で(価格とサービス)の取れは27年間も据え置いているので、必要は措置」吉祥寺総合物流(武蔵野市)の「順直社長(63)はこう話す。

更に、「サービスが先、利益は後」という小倉(昌男)「サービスを値上げをためらっていたのは思ふか。再配達の有料化など」の措置も、利用者からは理解され、問題無し、と指摘する。

また、「外資系通販業者ともドライバー不足と荷物増大への危機感はある」の田中久美男社長(65)は旭川物流(北海道旭川市)「小倉さんが生きていたら、意思決定が速い気味もっと早く手を打っていたで、後手に回っている印象だ。ドライバー不足は当社拭えない。宅配便業界は一

陣の責任は大きい」と厳しい。B10B(企業間)でも当然「時間指定配送」はあり、サービスは無料サービスと

金城運輸(大田区)の金城社長(48)は「通販事業ヤマト運輸は正しい方向へかじを切り始めたのだと思

う」と受け止めている。B10B(企業間)でも当然「時間指定配送」はあり、サービスは無料サービスと

金城運輸(大田区)の金城社長(48)は「通販事業ヤマト運輸は正しい方向へかじを切り始めたのだと思

う」と受け止めている。B10B(企業間)でも当然「時間指定配送」はあり、サービスは無料サービスと

金城運輸(大田区)の金城社長(48)は「通販事業ヤマト運輸は正しい方向へかじを切り始めたのだと思

前向きに捉える声大半

物流業界の転換点

捉えられるようになった。以前は待機時間なども含めた(比較的高い)運賃体系だったが、1つの間にか荷役業務も待機も全て含んだの朝場宏男社長(80)は昔から再配達などは過剰サービスと思っていた。宅急便でもその方法で良かったという印象だ。ヤマト運輸と

ルティンクス(千代田区)の中村社長(49)は「ドライバーへの負担増加の問題は起きている。配量調整が難しい。根本的な改善は難しいので、EIC(電子商取引)なイメージを売る側のサービスは、大口の通販事業者を中

シヨウ(中村真一郎社長、東京都千代田区)がヤマトの配送を請け負っているがドライバーの個人向け、企業向け配送を請け負っているがドライバーなど現場の動で消費の冷え込みもあり得る」と懸念する。

だが、今回、ヤマト運輸が一般紙、テレビなど様々な媒体の報道を戦いもたせ、声を上げたことがきっかけで、その流れが変わるのではないかと、当社としては便乗しての値上げ交渉は考え

ていないが、値下げ競争の流れているのは良いことだ。これを再認識させる大きな世論喚起となった。業界の株も上った。これは物流業界

米沢合同運送(山形県米沢市)の武田良宏社長(62)は「ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながって欲

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。



時間指定は平日の午前中に集中し、S.D.の忙しさはピークに

中小にとっても追い風

ヤマトが検討するとして

いる配送時間帯指定の改善については、「宅配全体の荷量が調整されない限り、象、EIC(電子商取引)なイメージを売る側のサービスは、大口の通販事業者を中

シヨウ(中村真一郎社長、東京都千代田区)がヤマトの配送を請け負っているがドライバーの個人向け、企業向け配送を請け負っているがドライバーなど現場の動で消費の冷え込みもあり得る」と懸念する。

だが、今回、ヤマト運輸が一般紙、テレビなど様々な媒体の報道を戦いもたせ、声を上げたことがきっかけで、その流れが変わるのではないかと、当社としては便乗しての値上げ交渉は考え

ていないが、値下げ競争の流れているのは良いことだ。これを再認識させる大きな世論喚起となった。業界の株も上った。これは物流業界

米沢合同運送(山形県米沢市)の武田良宏社長(62)は「ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。

は大きく、業界全体の労働環境の改善につながることを望む。ヤマト運輸の協力会社環境の改善につながることを望む。